作成・更新日 令和6年8月9日

事業名 水処理センター維持管理事業		実施計画事業or一般事業	— <u></u>	一般事業		該当なし	総合戦略	該当なし		
,		•		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
	1. 基本情	青報								
		部	上下水道局	予算中事業名		会計	下水道	事業計画	単年度	繰り返し
	担当組織	課	下水道課	1 to 7 m 1 1 1 1 1 to 7 m 1 1 1 1 1	予算	款		新規or継続	継続	事業

‡		部	上下水道局		予算中事業名		会計	下水道	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	下水道課		水処理センター維持管理事業	予算	款		新規or継続	継続事業
		係	下水道維持	係	小処理でクラー権対官理事業	科目	項		市単独or国県補助	市単独事業
政策		体系コード	522	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	 	事業	開始年度	H27	実施方法	一部委託
	IXXX PT/IX	政策	2	住みやすい快適なまちづくり	例•施行規程	期間	終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
		施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要

公共下水道終末処理場である佐野市水処理センターが正常に機能するよう施設の維持管理を行う。

対象施設:佐野市水処理センター(南部幹線場内ポンプ場及び場内マンホールポンプ場を含む)

(2)目的 (3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	佐野市水処理センターの正常な機能を確保する。	終末処理場の放流水質基準値適合率	%	100	100	100	100	100
(本事業に								
よって成し 遂げたい								
状態)								
, ./Li/								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
活動実績 (R5年度に	・水処理センター等包括的維持管理業務委託:1件	年間処理水量	万㎡	1,659	1,664	1,659
	施設の運転操作、電気・機械設備等の保守点検、小規模修繕等	年間汚泥発生量	t	4,216	4,792	4,886
	・放流水等の水質管理					
		事業費計	千円	514,247	611,827	571,625
	・更新工事:6件 (令和4年度からの繰越2件、令和6年度への繰越2件を含む)	一般財源	千円	412,889	486,486	457,877
	・修繕工事:2件	特定財源(国·県·他)	千円	101,358	125,341	113,748
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標		R3	R4	R5
+1 cm=4 an	設備の保守点検等の実施により、重大な故障に至る前に異常を発	終末処理場の放流水質基準値適合率	%	100	100	1
(定量及び	見し、修繕等を実施したため、正常な機能を確保し放流水質基準					
· 定性)	にすべて適合することができた。					1
λLII.)	にすべて適日することができた。				1	1
					1	- 1

(5)費用対効果結果(自動判定)

効果 効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 が果が下がった指標数 り指標値端減 0指標 効果が下がった指標数 り指標数	費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
(R5とR4の 効果が下がった指標数 の指標	か田	効果が上がった指標数	0指標
とでは、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型では、大型	(221242		1指標
指標性環域) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		効果が下がった指標数	0指標
1日	指標個唱减)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった		0	
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

物価や人件費等の上昇、設備の老朽化等により、事業費が上昇傾向である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- □ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
- □ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- □ 事業費の見直し検討
- □ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- □ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

水処理センターの適切な運転管理や設備の保守点検等を実施することにより、早期に異常を発見し、適切に修繕・改築を実施するなど、水処理センター施設の機能確保及び放流水質の適正管理に努める。

作成・更新日 令和6年8月9日

事業名	中継ポン	プ場ストックマネジメント事業	実施計画事業or一般事業	—#	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
•	•		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情報									
	部	上下水道局	予算中事業名	会計		下水道	事業計画	単年度終	繰り返し
エロスレクログか		エル学譜	+ /// 10x = 10 = 1	77 55				4hh4+	= ***

		部	上下水道局		予算中事業名		会計	下水道	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	下水道課		中継ポンプ場ストックマネジメン	予算	款		新規or継続	継続事業
		係	下水道維持	係	卜事業	科目	項		市単独or国県補助	国県補助事業
		体系コード	522	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	 下水道法、佐野市下水道条	事業	開始年度	R2	実施方法	一部委託
		政策	2	住みやすい快適なまちづくり	例•施行規程	期間	終了年度	ı	事業分類	施設維持管理事業
		施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理	103 001379017		•			

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

対象施設:高萩中継ポンプ場、秋山川中継ポンプ場、伊勢山中継ポンプ場

(2)目的 (3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		ポンプ場の重大な故障件数		0	0	0	0	0
(本事業に	設備の突然の故障や機能停止といったリスクを回避し、設備の長寿							
	よって成し 遂げたい 状態)							
状態)								
(,5.)								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標 単位 R3 R	R5
・中継ポンプ場改築工事:1件(令和4年度からの継続工事) 秋山川中継ポンプ場:沈砂池及びポンプ設備、電気計装設備 改築更新済設備群数(累計) 群数 0	0 :
更新 耐震対策済施設数(累計) 施設 0	0 (
活動実績 伊勢山中継ポンプ場:沈砂池設備、電気計装設備更新 (R5年度に ・ストックマネジメント計画策定:1件(水処理センターストックマネジメント計画策定:1件(水処理センターストックマネ	
「行った主な活動内容」 ・	207,440
一般財源 千円 4,975 20,	00 11,390
※設備群数とは、まとまった機能を発揮するために必要な設備の集合体(電気設備も含む)を指す。例:除塵設備、除砂設備特定財源(国・県・他) 千円 11,600 106	196,050
(うち受益者負担) 千円 0	0 (

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		※ 対条指標	早111	R3	ı
+L CD = M 10	重大な故障に至る前に改築工事等を実施したため、正常な機能を	ポンプ場の重大な故障件数	口	0	Ī
					Γ
(定量及び	確保することができた。				۲
定性)	秋山川及び伊勢山中継ポンプ場の改築工事が完了した。				L
~:=)	が出川及びから五千幡がファ物の成来工事が元」Uに。				l
					Γ

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
効果	効果が上がった指標数	0指標
(0.01.0.1.0	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

		効果						
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった				
費	費用は下がった		0					
	費用の増減無し							
用	費用が増加した							

R4

R5

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

物価や人件費等の上昇、設備の老朽化等により、事業費が上昇傾向である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- □ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
- □ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- □ 事業費の見直し検討
- □ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- □ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

佐野市公共下水道ストックマネジメント計画(第2期)に基づき、計画的な改築工事や耐震 対策工事の実施に向けて検討する。

作成・更新日 令和6年8月9日

-部委託

事業分類 施設維持管理事業

S55 実施方法

事業名	中継ポン	プ場維持管理事業		実施計画事業or一般事業	— <u>f</u>	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし	
1. 基本情	1. 基本情報									
	部	上下水道局		予算中事業名		会計	下水道	事業計画	単年度	繰り返し
担当組織	課	下水道課		中継ポンプ場維持管理事業	予算	款		新規or継続	継続	事業
	係	下水道維持係		中枢バンノ場框付目注事未	科目	項		市単独or国県補助		由事業
	体系コード	522	名称	根拠法令、条例等		Ш		義務or任意	任意的	り事業

例•施行規程

下水道法、佐野市下水道条

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

基本目標

政策

施策

事業概要

政策体系

中継ポンプ場施設(3箇所)が正常に機能するよう施設の維持管理を行う。 対象施設:高萩中継ポンプ場、秋山川中継ポンプ場、伊勢山中継ポンプ場

2 住みやすい快適なまちづくり

5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり

2 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理

(2)目的 (3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		ポンプ場の重大な故障件数		0	0	0	0	0
(本事業によって成し	 中継ポンプ場の正常な機能を確保する。							
遂げたい	中極ハフノ場の正吊な成形で唯休する。 							
状態)								
,								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

車業

期間

開始年度

終了年度

いまいた。 ・ 中継ポンプ提運転- 場作	活動指標	単位	R3	R4	R5	
	日常点検(高萩)		52	52	52	
	 ・中継ポンプ場運転操作	日常点検(秋山川)		365	365	366
活動実績 (R5年度に	・中継ポンプ場電気・機械設備等の保守点検	日常点検(伊勢山)		52	52	52
行った主な活動内容)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	事業費計	千円	55,006	64,749	111,691
∌ , r 1 -1 /	・修繕工事:1件	一般財源	千円	31,281	42,963	91,836
		特定財源(国·県·他)	千円	23,725	21,786	19,855
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		刈未担 保	平111	K3	K4	KS	拍标()
+L CD = X 10		ポンプ場の重大な故障件数		0	0	0	値が小さい
勿果説明	設備の保守点検等の実施により、重大な故障に至る前に異常を発						
(定量及び 定性)	見し、修繕等を実施したため、正常な機能を確保することができた。						
足圧)							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果					
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
I	費	費用は下がった						
I		費用の増減無し						
I	用	費用が増加した		\circ				

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

物価や人件費等の上昇、設備の老朽化等により、事業費が上昇傾向である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- □ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
- □ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- □ 事業費の見直し検討
- □ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- □ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

設備の保守点検等を実施することにより、早期に異常を発見し、適切に修繕・改築を実施するなど、中継ポンプ場施設の機能確保に努める。

作成•更新日 令和6年8月9日

事業名|農業集落排水維持管理事業 実施計画事業or一般事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし

1. 基本情報

担当組織		部	上下水道局		予算中事業名		会計	下水道	事業計画	単年度繰り返し
		課	下水道課		農業集落排水維持管理事	予算	款		新規or継続	継続事業
		係	下水道維持	係	業	科目	項		市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	522	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的事業
	政策休系	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	1净化槽法,佐野市農業集洛1	事業	開始年度	S62	実施方法	一部委託
以束体糸		政策	2	仕ったすいは、帝かまたづくり			期間	終了年度	R5	事業分類
		施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要

農業集落排水の管渠、マンホール、マンホールポンプ場、処理場等が正常に機能するよう施設の維持管理を行う。

対象施設:常盤地区(常盤地区水処理センター、管渠16,170.2m、マンホールポンプ場7箇所)

(2)目的 (3)目標値

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

管渠や処理場等の機能を維持することにより、農村地域の生活環 境の改善、農業用排水の水質保全を図り、処理水や汚泥のリサイ クルに努める。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
処理場の放流水質基準値適合率	%	100	100	100	ı	1

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
		年間処理水量	m³	98,065	79,429	71,439
		汚泥肥料量	m³	74	80	71
活動実績 (R5年度に	コンナールトハ 共 Ha の lを/ ギ / 比 米 トー オ / 比					
・ 行った主な活 動内容)		事業費計	千円	32,025	53,209	41,763
≇ // 1 ' 1' 1' 1' 1' 1' 1' 1' 1' 1' 1' 1' 1' 1'	·農業集落排水処理施設維持管理業務委託:1件	一般財源	千円	19,960	31,318	19,791
		特定財源(国·県·他)	千円	12,065	21,891	21,972
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

設備の保守点検等の実施により、正常な機能を確保し放流水質 基準にすべて適合することができた。

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
処理場の放流水質基準値適合率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった		0	
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年度末に、公共下水道への接続が完了したことにより、農業集落排水事業は廃止された。 令和6年度から、管路施設については、公共下水道事業に引き継がれ維持管理される。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- □ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
- □ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- □ 事業費の見直し検討
- □ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- □ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

Hπ幺F	日日公司	

令和5年度をもって事業は終了した。

作成•更新日 令和6年8月9日

事業名「下水道管渠維持管理事業 実施計画事業or一般事業 一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 予算中事業名

	部	上下水道局		予算中事業名
担当組織	課	下水道課		 下水道管渠維持管理事業
	係	下水道維持	係	下小坦吕朱祁村吕廷尹未
	体系コード	522	名称	根拠法令、条例等
政策体系	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	 下水道法、佐野市下水道条
IXXX ITVI	政策	2	住みやすい快適なまちづくり	ー 小温水、性野・ボース温水 ・例・施行規程
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理	173 NE 137901X

単年度繰り返し 会計 下水道 事業計画 予算 継続事業 款 新規or継続 科目 項 市単独or国県補助 市単独事業 義務or任意 任意的事業 S51 実施方法 事業 開始年度 -部委託 下水道法、佐野市下水道条 期間 終了年度 事業分類 施設維持管理事業

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 公共下水道の管渠、マンホール、マンホールポンプ場等が正常に機能するよう施設の維持管理を行う。

(2)目的 (3)目標値

目的 公共下水道汚水管渠等の機能を維持し、下水道使用者が快適 (本事業に に生活できるようにする。 よって成し 公共下水道汚水管渠等の修繕・改築を適切に行うことにより、不 遂げたい 明水量を減少させ有収率の向上を図る。 状態)

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
管渠の閉塞事故発生件数	件	0	0	0	0	0
公共下水道有収率	%	68.0	68.3	68.5	68.8	69.0

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
	ケット 0.7 (土 1二円本71 厂 0.4 ГО	管渠清掃延長	m	3,103	5,116	4,031
\		管渠TVカメラ調査延長	m	2,007	5,366	3,153
活動実績 (R5年度に		マンホール・公共桝修繕数	箇所	87	97	77
・ 行った主な活 動内容)		事業費計	千円	220,214	254,147	178,078
到四台)	•管渠修繕工事等実施件数:36件	一般財源	千円	172,668	164,547	144,478
		特定財源(国·県·他)	千円	47,546	89,600	33,600
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

適切な日常点検・パトロールにより、管渠が閉塞する前に発見・対 効果説明 (定量及び 応した結果、閉塞箇所数は減少した。 定性) 有収率も若干ながら向上した。

	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	ı
ŀ	管渠の閉塞事故発生件数	件	8	5	4	値が小さいほど良い	効果が上がった	ı
'	公共下水道有収率	%	62.8	61.1	61.8	値が大きいほど良い	効果が上がった	ı
								ı
								ı
								ı

(5)費用対効果結果(自動判定)

(R5とR4 指標値増		効果が下がった指標数 指標全体	0指標 効果が上がった
		効果は変わらない指標数	0指標
効果	1	効果が上がった指標数	2指標
費用	(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった	0		
	費用の増減無し			
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き事故防止のため、下水道施設の巡視・点検や清掃・調査に取り組み、発見された異常箇所の修繕等を適切に実施する。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- □ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
- □ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- □ 事業費の見直し検討
- □ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- □ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

管渠等の異常を早期に発見し、適切な修繕・改築を行うことにより、管渠の閉塞や不明水を防 止し、有収率の向上等を図る。

作成・更新日 令和6年8月9日

 事業名
 下水道管路ストックマネジメント事業
 実施計画事業or一般事業
 一般事業
 市長公約
 該当なし
 総合戦略
 該当なし

 1. 基本情報

_											
		部		部 上下水道局		予算中事業名		会計	下水道	事業計画	単年度繰り返し
	担当組織	課	下水道課		下水道管路ストックマネジメン	予算	款		新規or継続	継続事業	
		係	下水道維持	係	卜事業	科目	項		市単独or国県補助	国県補助事業	
-		体系コード	522	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的事業	
	政策体系	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	下水道法、佐野市下水道条		開始年度		実施方法	一部委託	
	IXXX PT/X	政策	2	仕っかすい 15高かまたづ/り	例•施行規程		終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業	
		施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理			•	•			

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 佐野市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、管路施設の計画的な点検・調査及び改築・修繕を実施する。

(2)目的 (3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的	 公共下水道管路施設の改築・修繕を適切に行うことにより、管渠の	公共下水道有収率	%	68.0	68.3	68.5	68.8	69.0
(17.37.76.10								
0.1 0.50	閉塞や不明水を防止し、有収率の向上及び老朽化した管路施設							
遂げたい 状態)	の延命化を図る。							
-D()								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		活動指標	単位	R3	R4	R5
	・管渠内面補強等工事:1件 ・マンホール蓋改築工事:11件	管渠改築工事延長	m	226	634	28
		修繕工事箇所数	箇所	80	251	196
活動実績 (R5年度に						
・ 行った主な活 動内容)		事業費計	千円	160,226	151,228	179,448
≢//r 1 /12 /		一般財源	千円	36,876	62,038	59,178
		特定財源(国·県·他)	千円	123,350	89,190	120,270
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果 (4)事業効果を説明する数値データの推移 ↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
+1 cm = 4 nn	 ストックマネジメント計画に基づき、点検・調査及び修繕・改築工事	公共下水道有収率	%	62.8	61.1	61.8	値が大きいほど良い	効果が上がった
•	等を実施し、管路施設の延命化を図った。							
足压)	また、有収率は若干ながら向上した。							

(5)費用対効果結果(自動判定)

_	(0)	コン・コングント・ドローント (ロエジ)コンベ	- /	_					
	費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用は下がった	※10万円以上の増減により判断				効果	
ſ	効果	効果が上がった指標数	1指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	(DELD 40)	効果は変わらない指標数	0指標		費	費用は下がった	0		
	(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標		-	費用の増減無し			
	指標値増減)	指標全体	効果が上がった		Ħ	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

物価や人件費等の上昇、施設の老朽化等により、事業費が上昇傾向である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- □ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
- □ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- □ 事業費の見直し検討
- □ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- ② 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

佐野市公共下水道ストックマネジメント計画(第2期)に基づき、計画的な点検・調査を実施することによって管渠等の異常を早期に発見し、適切な修繕・改築を行うことにより、管渠の閉塞や不明水を防止し、有収率の向上及び管路施設の延命化を図る。

作成•更新日 令和6年8月9日

事業名 公共下水道統合事業 実施計画事業or一般事業 実施計画事業 |市長公約 | 該当なし |総合戦略 | 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし

1. 基本情報

	部	上下水道局		予算中事業名		会計	下水道	事業計画	期間限定複数年度
担当組織	課	下水道課		公共下水道統合事業	予算	款		新規or継続	継続事業
	係	下水道維持	係	五 八 十小追机口事来	科目	項		市単独or国県補助	市単独事業
	体系コード	522	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的事業
政策体系	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	下水道法、佐野市下水道条		開始年度	H27	実施方法	一部委託
IXXX ITVI	政策		正のインの人が達みのコンペン	例·施行規程、佐野市農業	期間	終了年度	R6	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理	集落排水処理施設条例					

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

本市の農業集落排水事業は、設備の老朽化が進み、更新工事等の多額の維持管理費用が必要になると見込まれる。

事業概要 そのため、並木・飯田・佐野西部・常盤の全4地区について、公共下水道への切り替えを実施し、処理場を廃止することにより、将来の維持管理経費の削減を図

(2)目的 (3)目標値

		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		統合する区域の供用開始区域面積(累計)	ha	169	169	169	207	-
(本事業)	1利,0930辰未未冷排小学未必以次、4551小坦学未必饮用册							
よって成し 遂げたい	始区域とする。							
状態)								
,								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

_							
			活動指標	単位	R3	R4	R5
			接続工事の管渠延長	m	0	1,383.5	1,527.7
		接続工事を延長1,527.7mを実施し、常盤地区の接続工事が完	改修工事実施設計	件	0	0	1
Ш	活動実績 (R5年度に	了した。(公共下水道汚水整備事業として実施した。)	改修工事	件	0	0	0
	· 行った主な活 動内容)	 常盤地区水処理センター改修工事に伴う実施設計1件を実施し	事業費計	千円	0	0	1,023
	±)/r 11 □ r/	た。	一般財源	千円	0	0	1,023
			特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0
			(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

+1	1
効果説明	11
(定量及び	Ê
定性)	,

	常盤地区の接続工事がR5年度末に完了し、R6年度より全ての農	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
_	業集落排水が統合され、公共下水道として供用開始した。	統合する区域の供用開始区域面積(累計)	ha	169	169	169	値が大きいほど良い	効果は変わらない
月	並木地区:供用開始H28~(区域面積25.8ha)							
,	飯田地区:供用開始H29~(区域面積36.4ha)							
	佐野西部地区:供用開始R2~(区域面積106.6ha)							
	常盤地区:供用開始R6~(区域面積38.0ha)							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

				効果	
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
I	費	費用は下がった			
I		費用の増減無し			
I	用	費用が増加した		\circ	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

旧常盤地区水処理センターの改修工事について、適正な工事設計金額を算出し入札にかけ、工事監督を適切に行うことにより、費用対効果向上が図られる。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- □ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
- □ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- □ 事業費の見直し検討
- □ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- □ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

旧常盤地区水処理センターの改修工事を実施し、下水道用防災資機材倉庫として後利用を 開始する。

作成·更新日 令和6年8月9日

事業名 水処理センターストックマネジメント事業 一般事業 実施計画事業or一般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報

	部	上下水道局		予算中事業名		会計	下水道	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	課	下水道課		水処理センターストックマネジメ	予算	款		新規or継続	継続事業
	係	下水道維持	係	ント事業	科目	項		市単独or国県補助	国県補助事業
	体系コード	522	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的事業
政策体系	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	 下水道法、佐野市下水道条	事業	開始年度	H31	実施方法	一部委託
TYNK I TYNK	政策	2	仕ったすいは流みたまたづくり	例•施行規程	期間	終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

佐野市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、佐野市水処理センター施設の計画的な点検・調査及び改築・修繕を実施する。また、改築工事と並行して、 事業概要 土木・建築構造物の耐震対策を実施する。

対象施設:佐野市水処理センター(南部幹線場内ポンプ場及び場内マンホールポンプ場を含む)

(2)目的 (3)目標値

Ī			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	目的	設備の突然の故障や機能停止といったリスクを回避し、設備の長寿	終末処理場の放流水質基準値適合率	%	100	100	100	100	100
	(11.7-76.00	設備の天然の政障で機能停止というだり入りを回避し、設備の長寿 命化が図られることにより、佐野市水処理センターの正常な機能を							
	0.1 4,500	中にからいることにより、在野川が火を埋とファーの正常な機能を確保する。							
	状態)	(単体 9 る。							

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		(,				
	・佐野市水処理センター耐震工事:1件(令和4年度からの継続工	活動指標	単位	R3	R4	R5
	事) 沈砂池ポンプ棟(建屋等) ・佐野市水処理センター改築工事実施設計:1件	改築更新済設備群数(累計)	群数	3	3	3
	沈砂池ポンプ棟:汚水ポンプ設備、受変電設備等	耐震対策済施設群数(累計)	群数	11	11	12
活動実績 (R5年度に	T 1.34 FB 314 (A 45 4 F C C C C C C C C C C C C C C C C C C					
でいた主な活動内容)	らの繰越) ・ストックマネジメント計画策定:1件(中継ポンプ場ストックマネジメント事	事業費計	千円	871,856	117,740	301,054
到(2)	業にも計上)	一般財源	千円	46,864	26,550	45,754
	・耐水化工事実施設計:2件 ※設備群数とは、まとまった機能を発揮するために必要な設備の集合体	特定財源(国·県·他)	千円	824,992	91,190	255,300
	(電気設備も含む)を指す。例:除塵設備、汚泥脱水設備	(うち受益者負担)	千円	0	0	0

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明
(定量及び
定性)

設備の保守点検等の実施により、重大な故障に至る前に異常を発 見し、修繕等を実施したため、正常な機能を確保し放流水質基準 にすべて適合することができた。 沈砂池ポンプ棟の耐震対策が完了した。

	(1) 子术/がたという) (3) (1)				₩ XE23/ (O (- 1	
	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
ŧ	終末処理場の放流水質基準値適合率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
ŧ							

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果			
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	費	費用は下がった				
	用	費用の増減無し				
		費用が増加した		\circ		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

物価や人件費等の上昇、設備の老朽化等により、事業費が上昇傾向である。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- □ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
- □ 事業効果を上げるための事務改善の検討
- □ 事業費の見直し検討
- □ 業務時間効率化のための事務改善の検討
- □ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

佐野市公共下水道ストックマネジメント計画(第2期)や耐水化計画に基づき、計画的な改 築工事や耐水化工事を実施し、耐震対策工事の実施に向けて検討する。